

全対策事業の新規事業申請を行っており、8月には県央振興局や大村警察署、西大村小学校と合同点検を実施した。また、市道乾馬場空港線の歩道整備については、平成27年度防衛省所管の補助事業として申請している。いずれについても、事業化のめどが立ち次第、関係者等と調整を行う。

### 新幹線沿いの通学通勤等の道路は安全か

三浦 正司 議員

**Q** 大村市内全般を見渡して、新幹線事業と関連した新幹線沿いの通学通勤等の安心安全を充実するための道路や大村線の踏切等の整備に関して、大村線の移設や廃止される道路の機能補償、関連する踏切の整備、工用道路を活用した新しい道路の設置要望等はどうなっているのか。

**A** 鉄道については、諏訪駅前後の区間が新幹線ルートと重複するため移設する計画である。また、踏切については、宮小路踏切がある市道宮小路矢次線は在来線も含め立体交差となり、辻第2踏切は拡幅や移動はなく、原口第1踏切は歩行者のみの利用となる。また、道路については、原口第1踏切から以南の新幹線本線と道路

の交差または支障となる箇所は機能補償といふことで付け替えられ、機能補償の対象とならない新たな道路については、要望はない状況である。



### 行財政・一般

#### 投票率向上対策として

#### 期日前投票所の増設を

大崎 敏明 議員

**Q** 期日前投票は市民の皆様へ浸透し、先日の市長選挙では、投票数の約20%であった。投票率向上対策として、期日前投票所の増設が最も有効ではないか。人口の分布からすると、市北部地区の「郡コミセン」が最適だと思いが、選挙管理委員会としての意向はどうか。

**A** 期日前投票所の増設については、投票所の確保や投票システムの構築費用、人員の確保など課題があるが、有権者の利便性の向上が図られ、投票率の増加にもつながると考える。これらの課題を解決し、平成28年7月の参議院議員一般選挙から北部地区に増設ができるよう取り組みたい。

### 「風通しの良い市政」を目指して

川添 勝征 議員

**Q** 職員の地域担当制度について提案する。福知山市で導入されているこの制度は、職員2名が一町内を担当し、町内会長と面談の上、道路や災害、防災、ごみ問題等の地域の困り事をまとめ、報告書を担当部に提出し、担当部は町内会長に確認し処理するという合理的で親切的な制度である。困り事や相談だけでなく、市の行事や行政報告等が容易にできる制度を本市でも実現したいと考えるがどうか。

**A** 本市では、出張所が地域担当としての業務を担っており、地域と市役所をつなぐ窓口となっている。また、地域と行政をつなぐ取組みとして、地区別ミーティングと地区別要望の提出を毎年1回実施している。地域住民と市役所の距離をより近いものとし、地域の課題をより早い段階で把握することが効率的な行政運営を進める上で重要であり、さまざまな手法で推進する必要があると考える。

### 人口減少対策委員会の設置について

城 幸太郎 議員

**Q** 市長は子ども・子育て支援強化、地場産業育成、新幹線効果、工業団地開発等で、人口10万人を目指すと言われているが、2040年には8万7千人になるという予想もある。人口減少にはメリット、デメリットがあると思うが、今後の大型事業を考慮すれば、人口減少は避けたい。人口減少対策検討委員会の設置を提案する。

**A** 本市においても、人口減少対策を含めた地方創生対策本部を設置したいと考えている。市長を本部長に、横断的なプロジェクトチームを編成し、さまざまなアイデアや独自の取組みなど、地方創生に向けて、大村市版の総合戦略を策定したい。

### 一般職員の人事評価の進捗について

城 幸太郎 議員

**Q** 庁内アンケートによると、多数の職員がやりがいを感じるために仕事の成果や能力に対する適正な評価を求めている。昇任や降任には評価に基づく能力や実績を重視し、責任を持って業務や役